

7 月 7 日：海外勢の買い越しも追い風となり、VN 指数は反発

ホーチミン市場での外国人投資家による買い越し額は 2 兆ドンを超え、前日に大幅安となった VN 指数は反発した。

この日、同指数は 2.49% (33.76 ポイント) 高の 1,388.55 ポイントで取引を終えた。また同指数は前日、引けにかけて売りが殺到したことで 56 ポイント以上下げ、節目の 1,400 ポイントを割り込んだ。

この日も値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、226 銘柄が下落、147 銘柄が上昇、40 銘柄は変わらずだった。

出来高は引き続き高水準で売買高は 7 億 4,000 万株、売買代金は 24 兆 8,700 億ドン (11 億米ドル) となった。

大型株への買戻しからマーケットは上昇。VN30 指数は 3.38% (50.35 ポイント) 高の 1,538.77 ポイントだった。同指数採用銘柄のうち、26 銘柄が上昇、4 銘柄が下落した。

全てのセクターに買いが広がった。

中でも 6.07% 上昇したビンホームズ (VHM) は値上がり寄与度でトップとなった。

ペトロベトナムガス (GAS) +6.64%、テクコムバンク (TCB) +4.81%、ホアファットグループ (HPG) +3.96% がそれに続いた。

他の銘柄では、ベトジェット (VJC)、FPT グループ (FPT)、モバイルワールド・インベスト・メント (MWG) も堅調な動きとなった。特にモバイル・ワールド・インベストメントが 7% のストップ高を付けた。

「1,380 ポイント付近の短期的な下値支持線を割り込み、VN 指数のトレンドの勢いはさらに弱まった。1,325 ポイント付近が次の下値支持線だ」 (サイゴンハノイ証券 (SHS) のアナリスト)

「エリオット波動に基づくとマーケットは 1,210 ポイント付近を目指し、修正波 A に入る可能性がある。しかし大きな下落の後にはテクニカル面で見ても行き過ぎた売りが見直され、その後買い戻されることがよくある」 (同氏)

ハノイ市場の HNX 指数も大型株の上昇を受け 0.41% 高の 319.83 ポイントと反発した。HNX30 指数は 1.01% 高の 498.17 ポイントだった。

売買高は 1 億 6,893 万株以上、売買代金は約 3 兆 9,000 億ドンとなった。

外国人投資家はホーチミン市場で 2 兆 800 億ドンを買い越し、ハノイ市場では 472 億 7,000 万ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。